

福祉事業者における地域貢献活動に関するアンケート
調査報告書

令和2年2月

西京区地域福祉推進委員会

1. 調査概要

1. 趣旨

平成29年4月施行の改正社会福祉法により、施設などを運営する社会福祉法人は地域貢献活動（24条「地域における公益的な取組」及び55条「地域公益事業」）に、より積極的に取組むことが求められています。

本委員会においても地域貢献活動を促進していきたいと考え、そのための支援を検討する基礎資料として実態調査を行うことといたしました。

今回の調査は、区内の社会福祉法人の取組の実態把握に加え、社会福祉法人以外の福祉事業者による地域貢献活動の取組の実態把握も目的に、アンケート調査を行います。

2. 目的

- ①区内の福祉事業者が実施している地域貢献活動の内容の把握
- ②今後の地域貢献活動の充実に向けた支援を検討する基礎資料の作成

3. 調査対象

247事業所

- ・高齢分野 109事業所
- ・児童分野 74事業所
- ・障害分野 64事業所

4. 調査期間

令和元年8月29日～令和元年9月27日

5. 回答方法

区内福祉事業所へ依頼し、回答書を返信用封筒にて郵送で回答

6. 回答状況

130事業所（回答率52.6%）

- 高齢分野 56事業所（高齢分野回答率51.3%）
- 児童分野 39事業所（児童分野回答率52.7%）
- 障害分野 35事業所（障害分野回答率54.6%）

7. 調査結果の要約

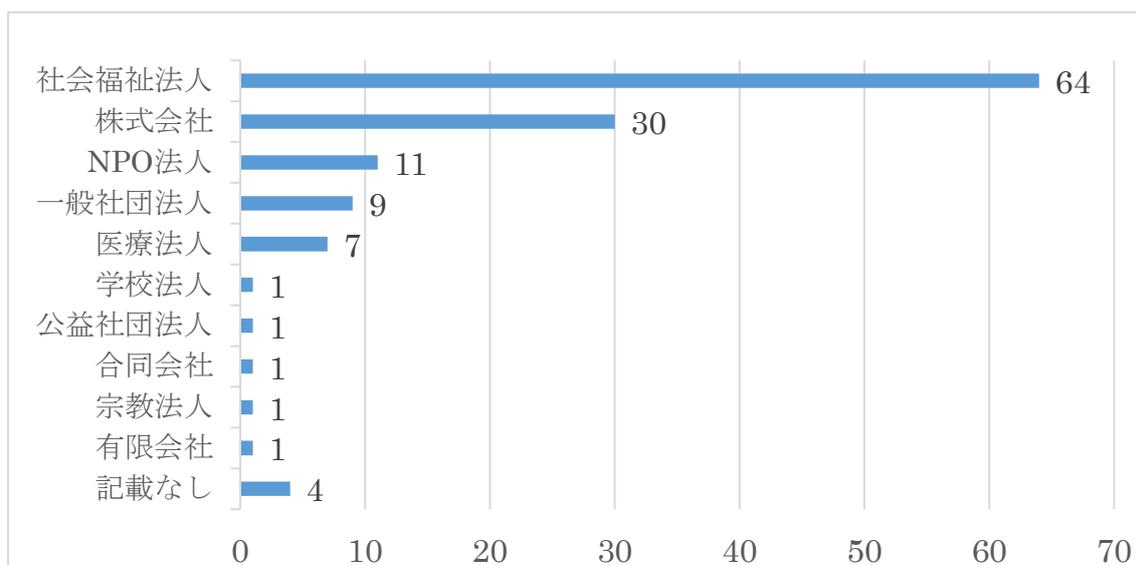
- 回答があった事業所の内、地域貢献活動を実施していると回答した事業所は89(68%)あり、うち社会福祉法人は51と最も多く、次いで株式会社19であった。
- 実施方法は、「施設の場所や設備を活かした活動(場や備品の貸し出し等)」が66と最も多く、「地域内の関係機関とのネットワーク化」53、「職員の知識や経験を活かした活動(職員の派遣、講座の講師等)」51であった。
- 実施の経緯は「地域(町内会、学区社協、地域住民等)からの要請」と「他法人、施設からの要請、声掛け」と併せると69となり、「自らの企画」38よりも多く、多くの取り組みは、要請によるものとなっている。具体的な活動の要望があれば実施しやすい傾向があると考えられる。
- 実施の継続意向は「地域から求められれば新たな活動にも取り組みたい」「新たに活動の種類を増やし、今まで以上に地域貢献活動に取り組みたい」との意向を持つ事業所が66となり、一方「現状の活動を整理、縮小したい」と考える事業所は0であり、実施の経緯が要請であっても、全体として継続意向は高く前向きに実施されていると言える。
- 成果では、「事業所の存在を知ってもらえる」ことを高く評価されており、その事が更なる連携協働の機会が増えるという相乗効果もあると考えられる。さらに、他機関や団体との連携が広がったことや、職員のモチベーション向上に繋がるなど、地域貢献活動が日頃の事業に良い効果をもたらしていると考えられる事業所が多い。
- 今後取り組みたいと考えている活動は、「地域を活性化する活動」や「ボランティアや福祉人材の育成」への関心が高く、現在、取り組んでいる地域貢献活動とほぼ同様の傾向だが、「住民同士の交流の場作り(サロン活動、居場所づくり等)」の割合は、現在の取り組みの2.1から2倍の4.4と大きく増え、関心が高まっていると言える。
- 一方で、課題としては「本来業務が多忙」「人材不足」が多くなっている。地域貢献活動を実施するには、本来業務と人手確保のバランスを取ることが事業所には求められる。
- 地域貢献活動の取り組みを広めるためには、地域課題の把握や実施に向けた地域との連携が求められる。実施に前向きな事業所が多い中、業務多忙で人手不足の状況もある中で、西京区で取り組みが広がるためには、実施方法の共有や、事業所と地域の仲介役となる役割も必要となると考えられる。

2. 調査結果

問1 貴事業所の基本情報

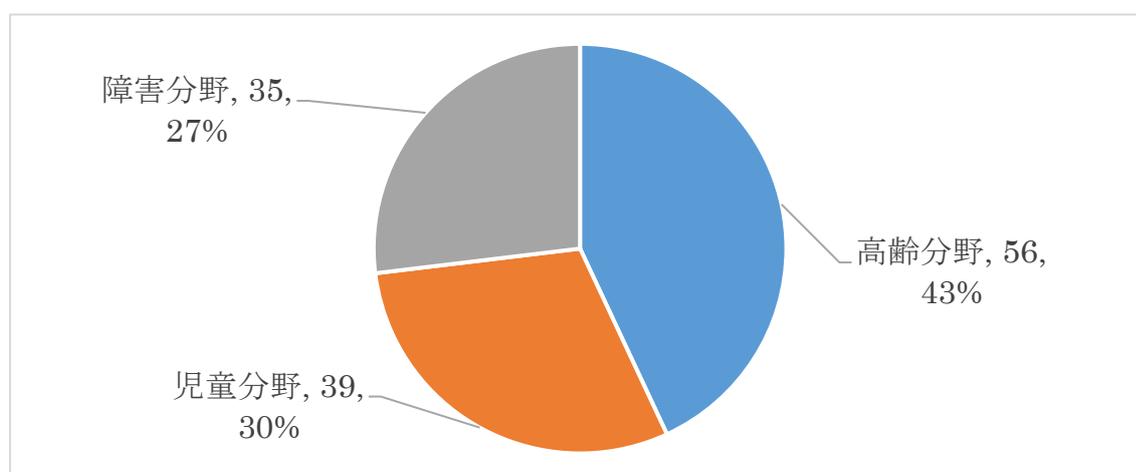
1 回答事業所の法人種別

回答数130の内、社会福祉法人が64事業所（49.2%）と約半数を占め、株式会社30（23.0%）、NPO法人11（8.4%）と続いている。



2 事業所の種別

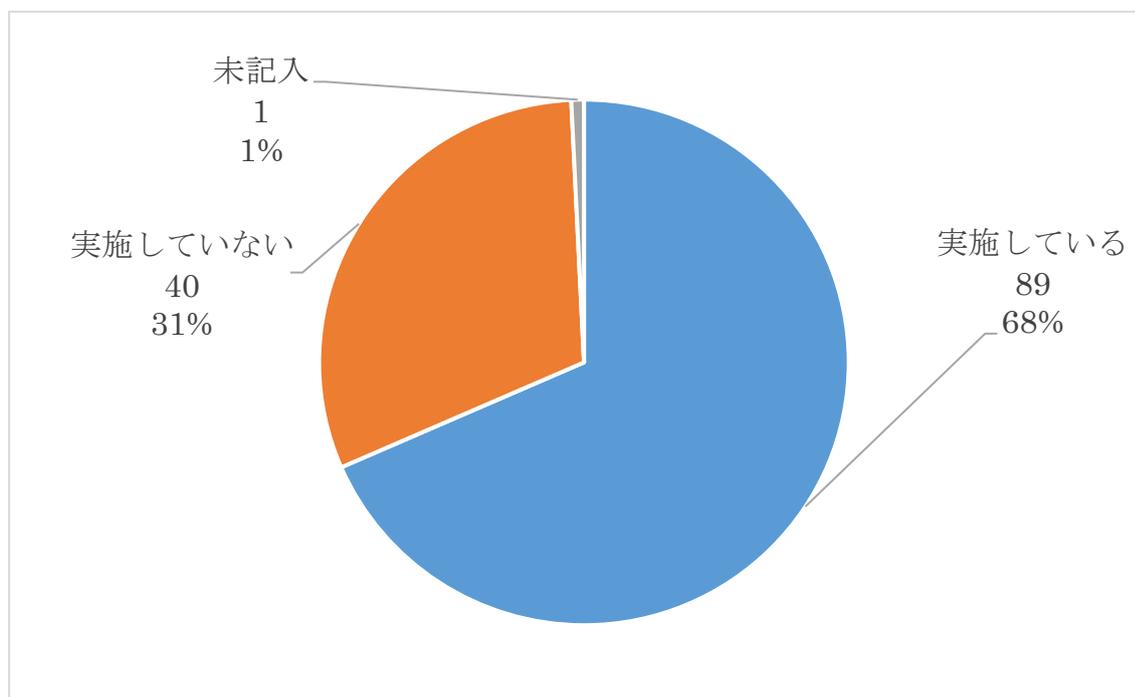
回答数のうち高齢分野の事業所が56と最も多く、児童分野39、障害分野35となっている。



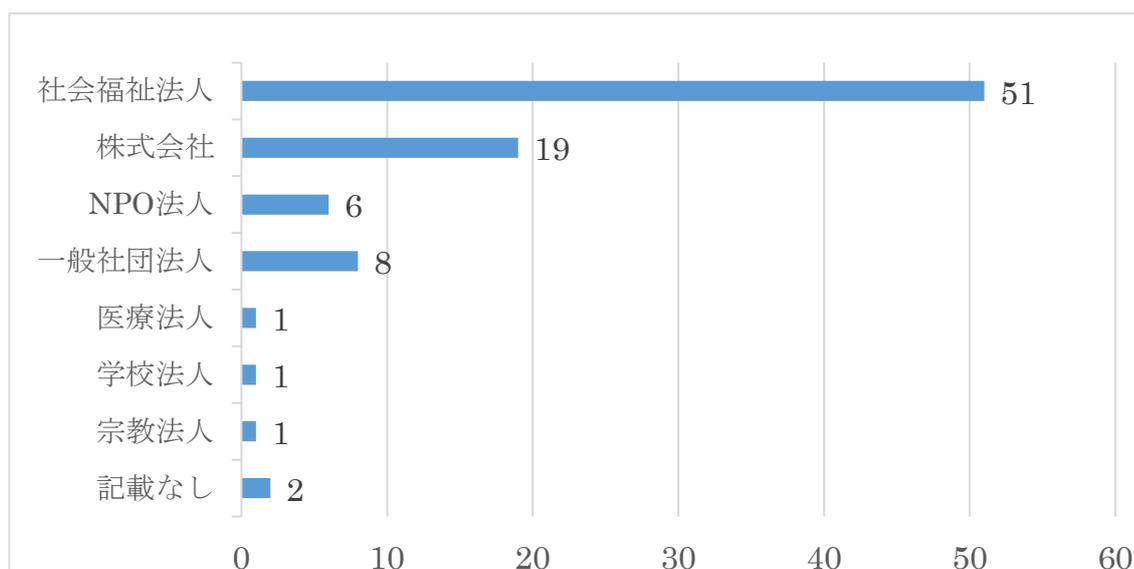
問2 独自の地域貢献活動の実施

1. 実施状況

「実施している」と回答したのは89事業所と全体の68%を占めている。
また、実施している89事業所の内、社会福祉法人は51と最も多く、次いで株式会社19、
一般社団法人8と続いている。

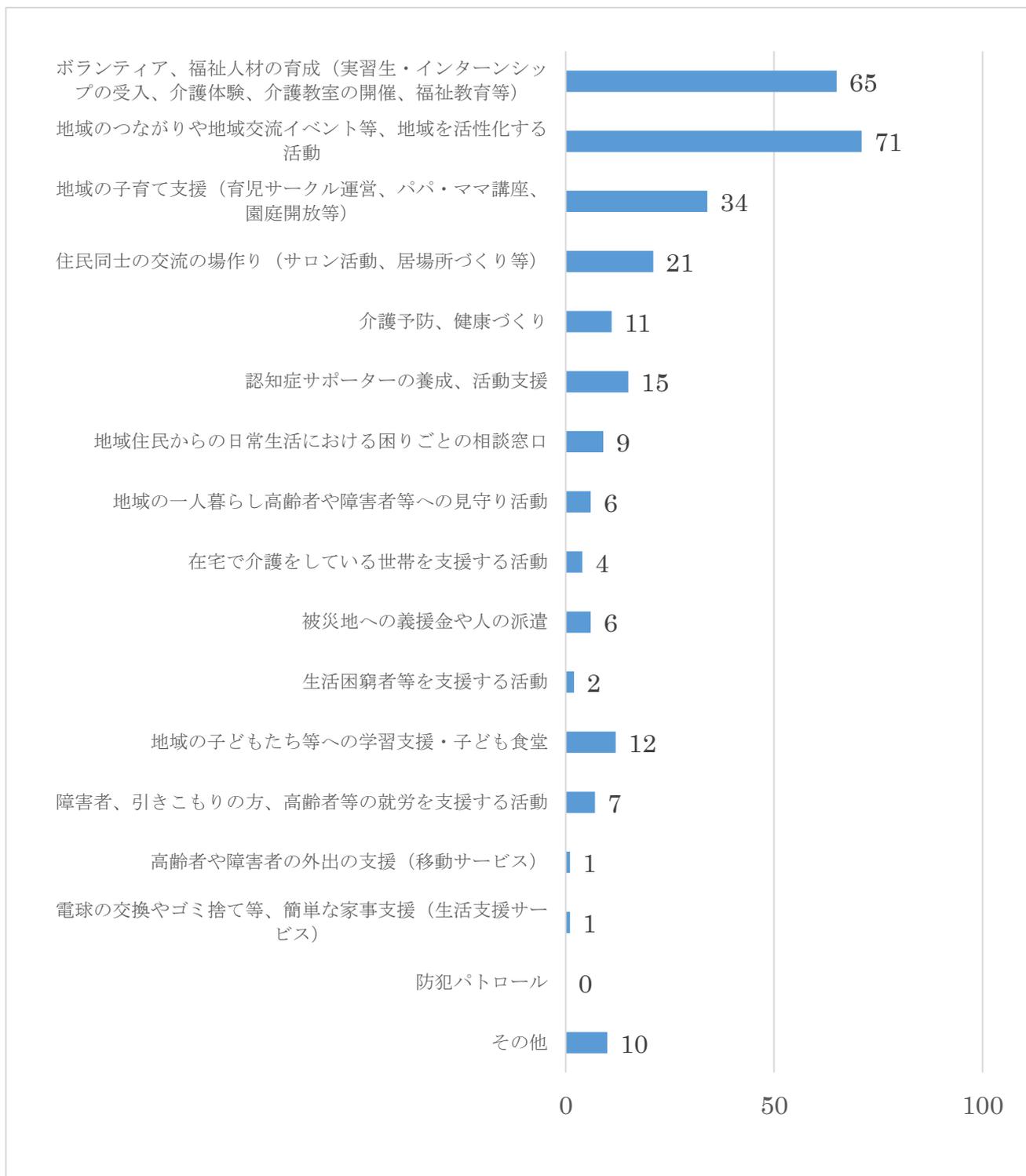


2. 実施事業所の法人種別



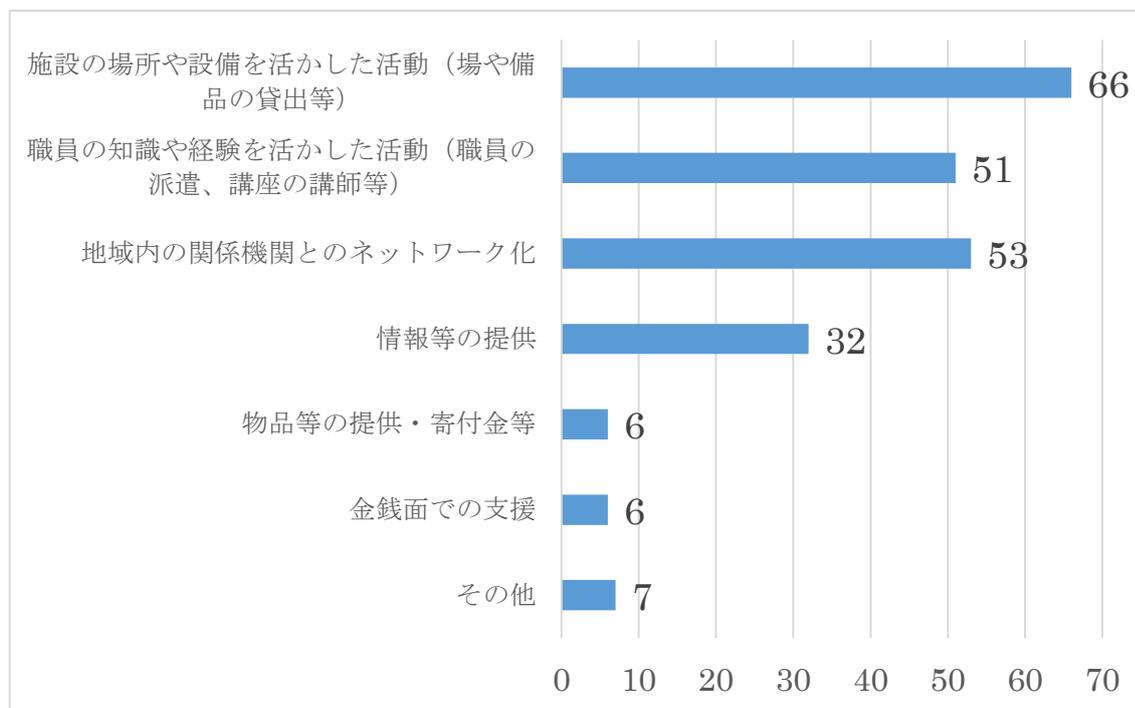
問3 独自に取り組んでいる地域貢献活動（複数回答）

独自に取り組んでいる地域貢献活動の内容は、「地域のつながりや地域交流イベント等、地域を活性化する活動」が71と最も多く、以下、「ボランティア、福祉人材の育成（実習生・インターンシップの受入、介護体験、介護教室の開催、福祉教育等）」が65、「地域の子育て支援（育児サークル運営、パパ・ママ講座、園庭開放等）」が34と続いている。



問4 独自に取り組んでいる地域貢献活動（複数回答）

独自に取り組んでいる地域貢献活動の方法は、「施設の場所や設備を活かした活動（場や備品の貸し出し等）」が66と最も多く、「地域内の関係機関とのネットワーク化」53、「職員の知識や経験を活かした活動（職員の派遣、講座の講師等）」51と続いています。



問5 独自に取り組んでいる地域貢献活動の具体的な内容（一部）

【高齢福祉施設】

内容	活動頻度	対象	連携団体等
中学生の福祉体験受入	年1回	中学生	中学校
地域の高齢者に対するカフェの開催、催し物	月1回	高齢者	学区民協、老福
小学生向け認知症あんしんサポーター養成講座への職員派遣	年2～3回	小学生	小学校、包括
活動スペースの貸出 1階フロアを「地域交流スペース」とし、主に地域学区の各種団体やすこやか教室等社協の活動場所として提供。地域住民同士の交流やボランティア活動の拠点となっている。	ほぼ毎日	自治会、高齢者クラブ各種、スポーツ少年団、社協、民生、女性会、学区住民、任意団体等	自治会・町内会、民協、老福、学区社協、高齢福祉施設、障害福祉施設
小学校の低学年の児童に施設に来ていただき、施設内の見学や、職員へのインタビューを受け、学習に役立てて頂く。	1～2年に1回	小学生	小学校
デイサービスの施設設備を開放し、介護認定に関わらず健康づくり等の為に場の提供指導を実施。	月2回	地域の方	包括
認知症カフェ	月1回	軽度認知症の人とその家族、医療福祉に繋がっていない人、認知症かもしれないと悩む人とその家族	民協、老福、学区社協、高齢福祉施設、包括、病院
30分の体操教室	週1回	地域にお住まいの高齢者	自治会・町内会 民協・老福
子どもまつり 年1回事業所施設開放と地域の子供達に向けて紙芝居やゲームを事業所から提供	年1回	地域住民 子供 (主に乳児～小学生)	自治会・町内会

【児童福祉施設】

内容	活動頻度	対象	連携団体等
子育て支援ネットワーク 地元学区の子育て支援に関わる 保育園、幼稚園、小学校、中学校、 障害児支援等の機関と連携し て、子育てをされている親子さ んが交流できるイベント等を行 っている。	年4回ほど	地域の乳幼児親 子など	民協、学区社協、 障害福祉施設、児 童福祉施設、小学 校、中学校、行政 機関
中学生への学習支援として、事業 終了後の施設提供	週1回	中学生	事業実施団体、大 学
園庭開放	月1回	地域子育て世帯 (主に0～2 歳)	地域の子育て支 援ネットワーク
「生き方探究チャレンジ体験」中 学生の受入(保育体験)	年1回	中学生	中学校

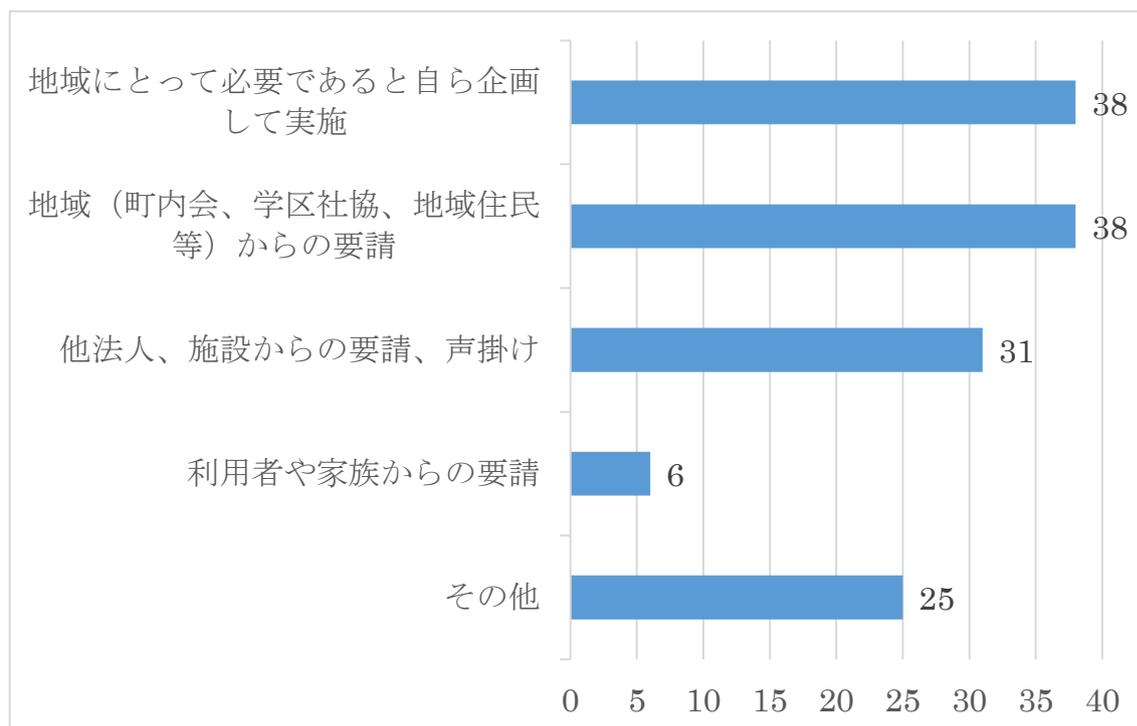
【障害福祉施設】

内容	活動頻度	対象	連携団体等
福祉体験学習。 車イス体験や障害者スポーツを通 じて交流を図りながら障害者への 理解を深めてもらう。	不定期 依頼があり 対応	どなたでも	小学校
まつりの開催 市民(地域住民)とのふれあいを 通して障害のある市民の理解や交 流共生文化の発信を目的とし、生 涯のある方の作った製品販売や作 品展示、ステージ発表などを行う。	年1回	地域住民	自治会・町内会、 学区社協、高齢福 祉施設、障害福祉 施設、児童福祉施 設、小学校、中学 校、行政機関
読み書きサービス。 地域の視覚障害者に対する読み書 きサービスで読んでほしい書籍等 を持ってきていただき、朗読ボラ ンティアサークルの方に読んでい ただいている。	週1回	地域の視覚障害 者	ボランティアサ ークル

問6 問5の活動を始めた経緯（複数回答）

独自に取り組んでいる地域貢献活動を始めた経緯は、「地域にとって必要であると自ら企画して実施」と「地域（町内会、学区社協、地域住民等）からの要請」が38と同数で「他法人、施設からの要請、声掛け」が31と続いている。

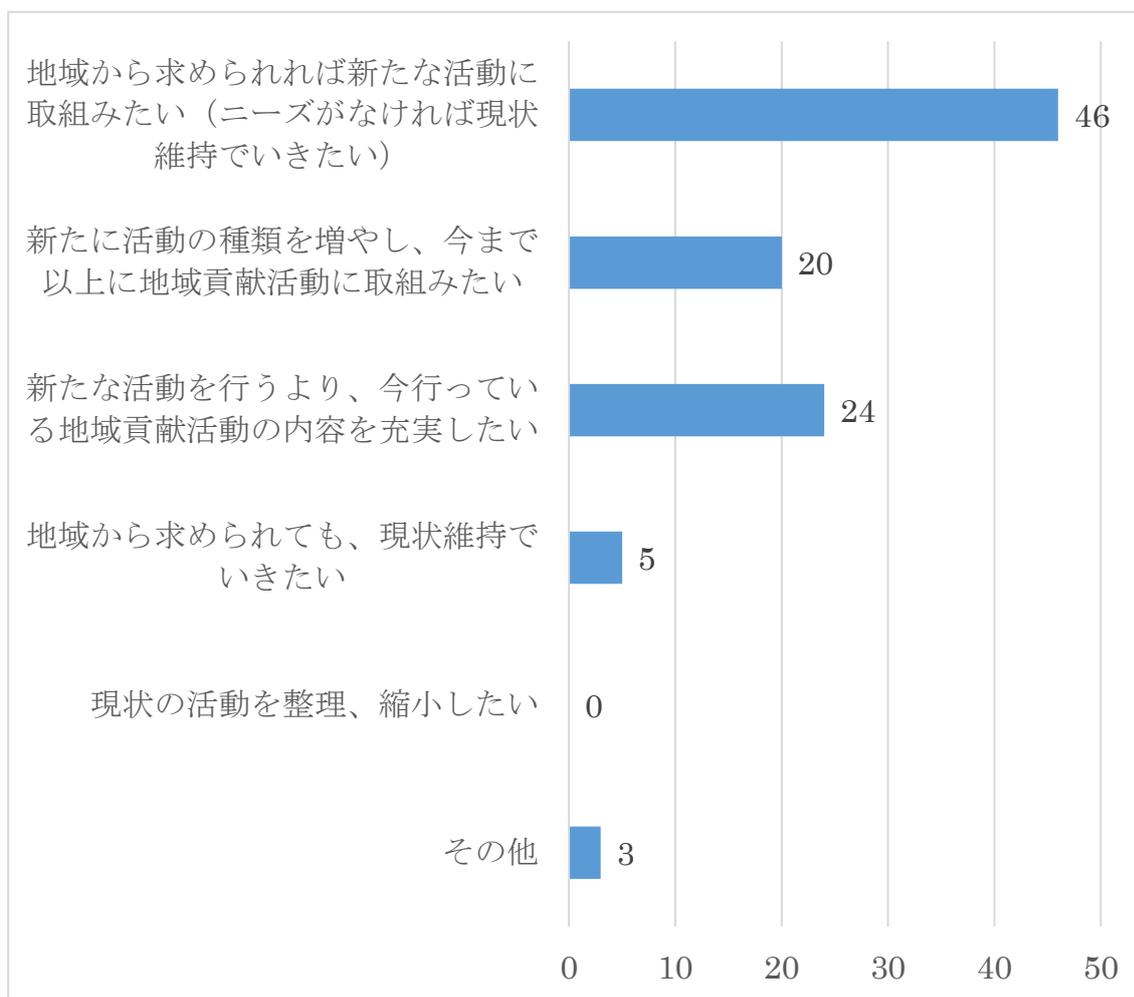
その他としては、「学校からの声掛け」「地域のネットワークで企画」が多かった。自ら企画するというより、要請があったことがきっかけとして多い結果となった。



問7 問5の活動の継続意向（複数回答）

独自に取り組んでいる地域貢献活動の継続意向は、「地域から求められれば新たな活動に取り組みたい（ニーズがなければ現状維持でいきたい）」が46と最も高く、「新たな活動を行うより、今行っている地域貢献活動の内容を充実したい」が24「新たに活動の種類を増やし、今まで以上に地域貢献活動に取り組みたい」が20と続いている。

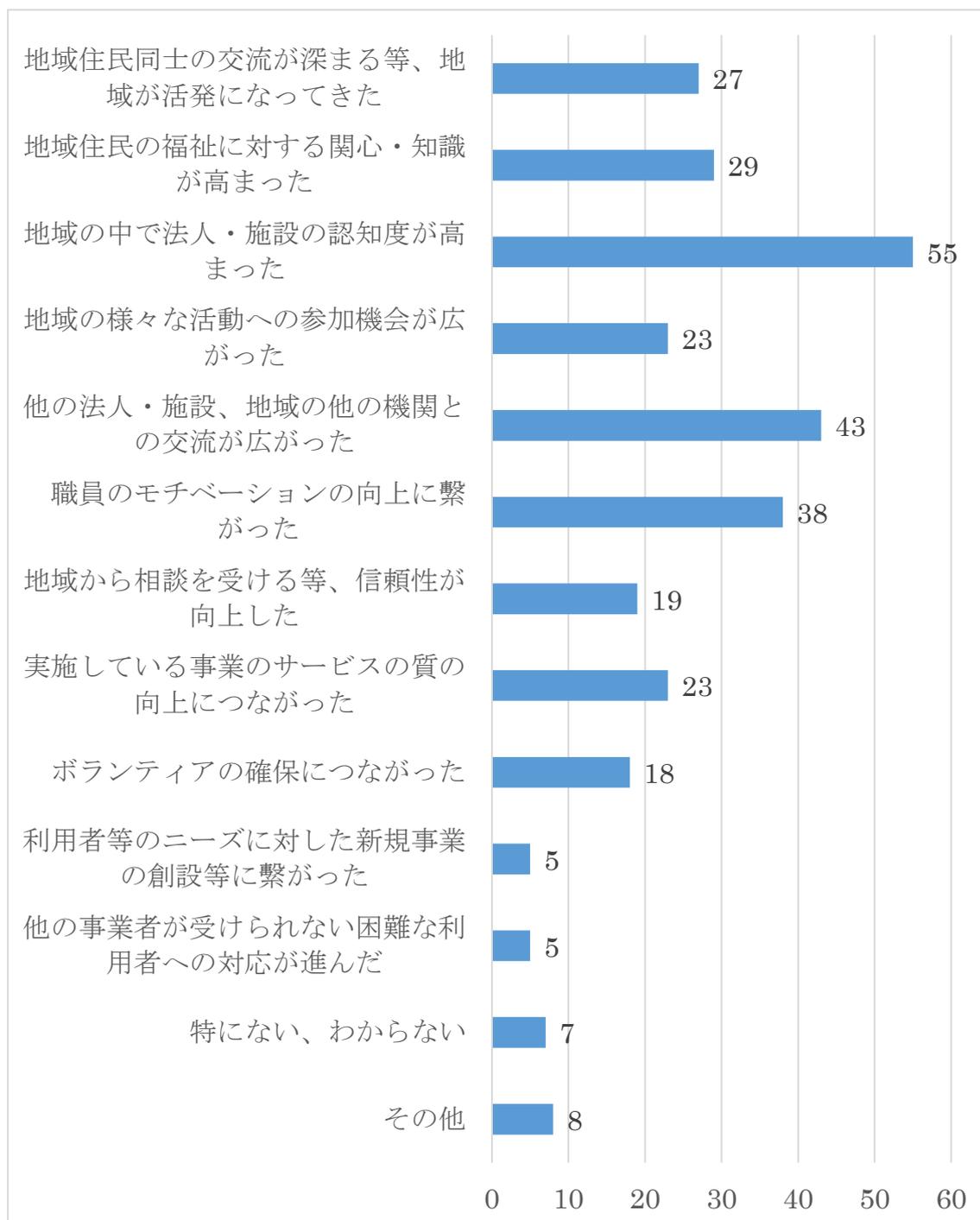
「地域から求められれば新たな取組にも取り組みたい」「新たに活動の種類を増やし、今まで以上に地域貢献活動に取り組みたい」との意向を持つ事業所が66もあり、一方「現状の活動を整理、縮小したい」と考える事業所は0であるなど、全体として継続意向は高いと言える。



問8 問5の活動の成果（複数回答）

独自に取り組んでいる地域貢献活動の成果は、「地域の中で法人・施設の認知度が上がった」が55と高く、「他の法人・施設、地域の他の機関との交流が広がった」が43、「職員のモチベーションの向上に繋がった」が38と続いている。

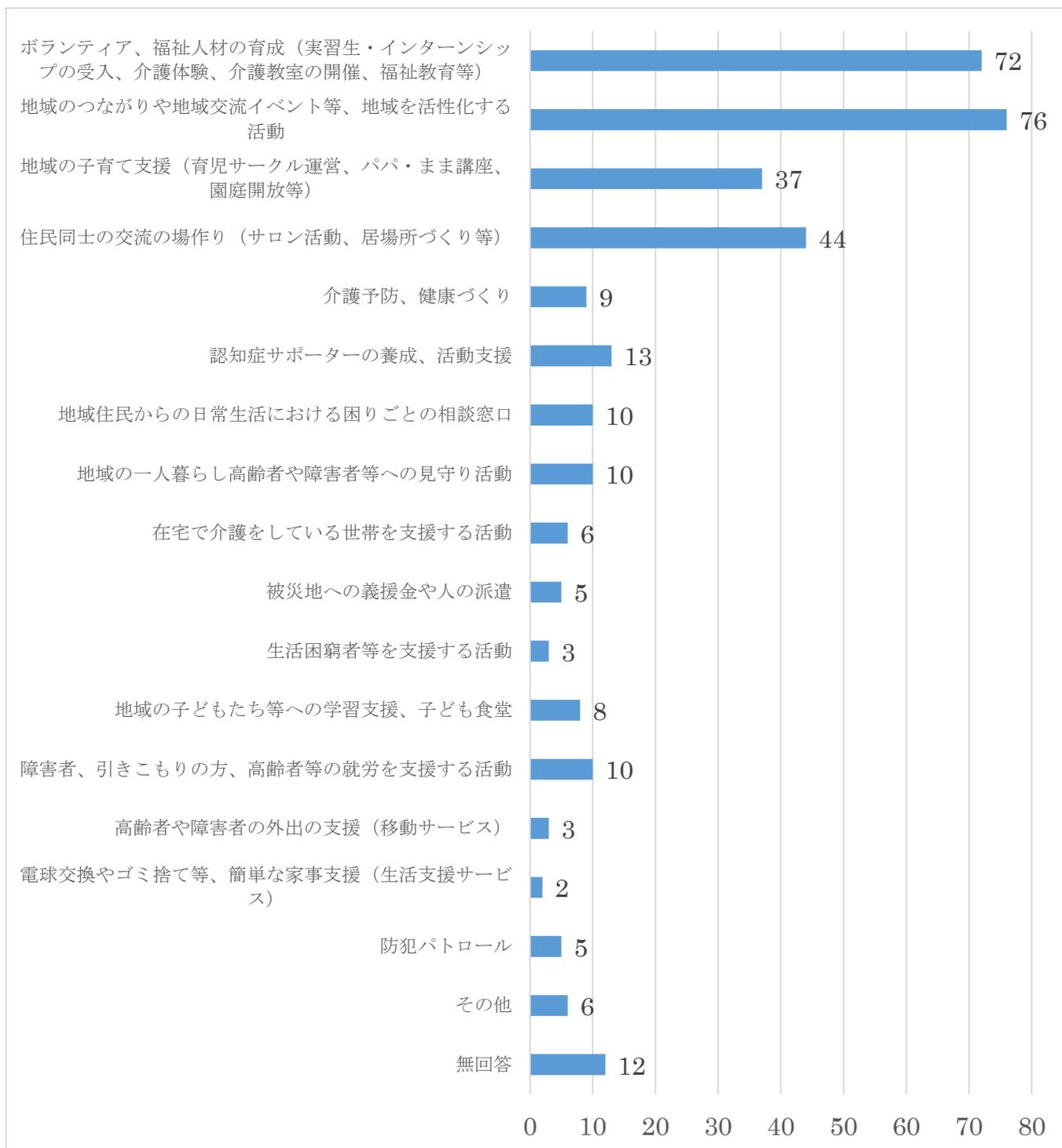
事業所の存在を知ってもらえることで、さらに参加機会が増えるという相乗効果が期待されます。また、他機関や団体との連携が広がったことや、職員のやる気向上に繋がるなど、地域貢献活動が日頃の事業に良い効果をもたらしていると考えられる。



問9 今後取組みたいと考えている活動（複数回答）

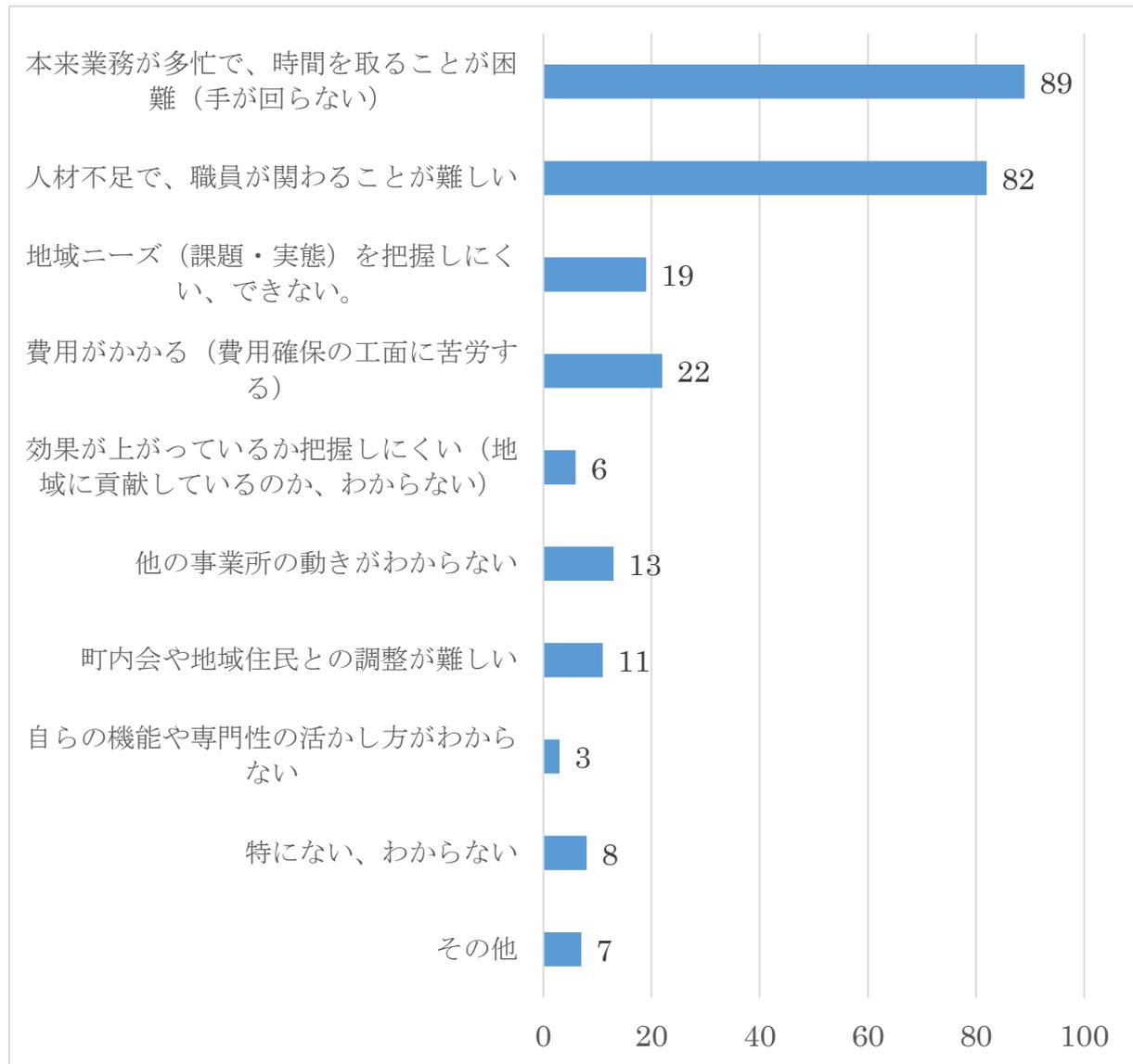
今後取組みたいと考えている地域貢献活動は、「地域のつながりや地域交流イベント等、地域を活性化する活動」が76と高く、「ボランティア、福祉人材の育成（実習生・インターンシップの受入、介護体験、介護教室の開催、福祉教育等）」が72、「住民同士の交流の場作り（サロン活動、居場所づくり等）」が44とやや離れて続いている。

現在、取り組んでいる地域貢献活動とほぼ同様の傾向だが、現在取り組んでいる活動より割合が大きく増えているものは「住民同士の交流の場作り（サロン活動、居場所づくり等）」で現在の取り組みの2.1から2倍の4.4となっている。



問10 地域貢献活動を行う上での課題（複数回答）

地域貢献活動を行う上での課題については、「本来業務が多忙で、時間を取ることが困難（手が回らない）」が89と、「人材不足で、職員が関わるのが難しい」が82とほぼ同数で高くなっています。



問 1 1 その他、地域貢献活動についてご意見、ご要望など（自由記述）（原文のまま・一部）

<p>施設がオープンして現在6年目になります。施設内でのサービスについてはお蔭さまで何かと安定してきているのが実感できるようになりました。今後は地域の事を地域の為にできることをしたいという想いに施設としても施設長としてもあります。実際のところ何をどのように取組むべきか分からずにいます。</p>
<p>地域と交流してみたいもの、仕事中は未だ時間作れず、プライベート時間は家事育児でまだ時間が作れず もどかしい想いですが、何か単発ごと月1回など回数少なく負担少ないことから何かないか探しています。 専門性を活かすことも、又、全然異なる分野のことも挑戦していきたいです。</p>
<p>地域のサロン活動への参加や小学生の社会見学の受入、大学生のボランティアの受け入れなどできていることはあるが、「独自」の取り組みを提案、発信、組織化して運営するところまではできていない。</p>
<p>現状の活動及び施設としての機能の維持を最優先として新たな活動の参加企画の機会がある場合は慎重に検討したい。</p>
<p>法人全体としては色々取り組んでいますが、事業所単体で取組むことは難しいです。</p>
<p>災害時等の地元の集合場所にもなっているので自治会との話をしている。職員不足であったり、行事、作業、書類などが多く手が回らない現実がある。</p>
<p>引きこもりの問題、虐待の問題、障害者の問題、高齢者介護の問題、子育て・・・「困り」をしっかり受け止める人がいれば解決できなくてもその人の支えになることには違いありません。福祉の現場には、「困り」をしっかり受け止めることができる人がたくさんいます。事業内容に関わらず生活全般のさまざまな「困り」を聴いて受け止めています。十分に地域貢献をしていると思っています。人手不足は深刻です。本来業務だけでも手一杯です。職員にもっとゆとりが持てるようになれば、自然に地域貢献ができると思います。私自身は、障害者問題、引きこもりの問題にはずっと関わっておりますが事業所として何ができるかといわれると難しいです。</p>
<p>地域のつながり、地域の子ども達を地域の人々と共に見守りながら育成していきたいと考えています。地域の社会福祉協議会とももっとしっかりつながっていききたいです。</p>
<p>日々の業務 保育行政とのやり取り事務等（職員はことあるごとに増えている）増えている。利用者対応も。ただ、何か手伝うことがあれば参加したいと考えています。</p>
<p>秋のハロウィンの時に子ども達が仮装をしてご町内を歩いた時に、住人のお年寄りの方から「とても元気をもたらした」と言ってもらい、民生さんから一人暮らしのお年寄りにも訪問してあげてほしいと要望を受け、今年度より活動が広がっていった。民生の方もいい人だったので、大変よかったです。これからも地域の方との交流を大切に地域交流を進めていきたいです。</p>
<p>地域に根差した施設として地域住民の皆さんが施設に安易を求めているのか、やはりわかりづらい面があります。日々の業務に追われ現状の活動しかできない中、今の活動を充実していくことで精いっぱいです。</p>

<p>PTA 活動、町内自治活動など現役世代が忙しく、人材不足と聞いています。事業所メンバーでお手伝いできる事があればお声掛けいただければと思っています。</p>
<p>PTA のボランティアなど卒業すると活動の場がなくなる。 育った人材やネットワークが使われずもったいないと感じています。</p>
<p>フラワーイベントは子どもからお年寄りまで体験できるので地域交流のお手伝いできればよいと思っています。</p>
<p>近年社会福祉法人の地域での公益的な取組が叫ばれていますが、これは企業の内部留保を抛出させるために、社会福祉法人がやり玉の先鋒に挙げられている気がしてなりません。地域での公益的な取組というのは本来社会福祉協議会の仕事であるはずで、この取組が強化されていくと将来社会福祉協議会の存在意義がどんどん薄れていくと思われま。危機意識を以って福祉の総合的コーディネーターとして活躍してください。</p>
<p>できることなら地域でお世話になっておりますので、貢献活動を行いたいです。一歩がまだなかなか出ずです。すいません。</p>
<p>「本業」以外の活動についてお答えしました。 通常業務に関連しては地域自立支援協議会に加わっています。公的な機関が民間のノウハウを活かす場を提供して下さったら（例えば障害児の親支援、各種情報提供）参加する事業者は多いと思います。この場合営業行為との線引きが重要ですが、クリアできないことはないと感じています。</p>
<p>まずは事業の安定化を図り業務を行ってきたが、新規児童の受入、従業員教育、業務フローの定着、療育における基本プログラムの確立と指導法において概ね基盤が出来たことにより、今後更なる弊社で出来る地域貢献活動に取り組む意向です。</p>
<p>こんな活動があります等の事例があれば知りたいです。地域の方々や他事業所と上手く関わればとの思いはあります。</p>